

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	企画政策課長 古厩 忠嗣		
		主管課(関係課)【2】	企画政策課(情報推進課、みどり公園課)		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
活2-1	まちの魅力を創造	地域性を活かして人が集う魅力的なまちになるために	活力と魅力あるまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	<p>活気あるまちであるためには、市外からも人を呼び込めるような魅力があると同時に、その魅力が十分にアピールされることが必要です。</p> <p>本市は、5つの鉄道駅が存在し、都市計画道路の整備も進められるなど、交通の便がよく、都心に比べ比較的多く残されています。また、下野谷(したのや)遺跡など、歴史や文化などの地域資源も多くありますが、その魅力を十分にアピールできていないのが現状です。</p> <p>今後は、まちの魅力の向上をめざし、魅力ある景観づくりや、ひと・もの・ことを活用して「西東京ブランド」の構築を進めるとともに、地域資源である東大生態調和農学機構、多摩六都科学館などの活用を検討やさまざまな情報媒体を利用した積極的な情報発信をする必要があります。</p>		<p>◆西東京ブランドの構築</p> <p>◆まちの魅力の情報発信力の強化</p> <p>◆東大生態調和農学機構や多摩六都科学館を活用したまちづくり</p>	<p>自然や歴史、文化などの地域資源を活かし、まちの魅力を向上させるとともに、積極的な情報の発信に取り組みます。</p>	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
<p>◇平成26年11月に、それぞれの地域が自らの地域資源を活用し、将来に向かって活力ある地域社会を創造することを目的とする「まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)」が制定され、西東京市でも、平成28年3月に「『健康』応援都市の実現」を基軸とする「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めました。「住み続けたいまち」「住みたいまち」としての価値を高めるため、基本目標3として「まちを楽しみ、まちの良さを高める」を掲げ、まちの魅力を高めるための取組を進めています。</p> <p>◇「健康」応援都市の実現、とりわけ、まちの活力を高める上では、市の魅力を高めることは重要な課題の一つです。</p>					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	西東京市にある地域資源の利活用の検討を進めます	地域資源の活用、市内外へのPR、新たな魅力の創造		
	2	水とみどりに親しみ、まち歩きを楽しめる環境整備を進めます	まち歩きを楽しめる環境づくり		

【施策の成果】

				年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「地域資源を活用したまちの魅力を創造」に対する満足度	目標値	19%			単位	%		
		算出式・説明	西東京市の自然や歴史、文化などを活かして、市が行っている「地域資源を活用したまちの魅力を創造」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	13.5	13.5	13.5	15.1	15.1	20.1	
		達成率		71%	71%	71%	79%	79%	106%		
	指標2	名称	みどりの散策路めぐりへの参加者数	目標値	400人			単位	人		
		算出式・説明	水とみどりに親しみ、まち歩きを楽しむ取組である、みどりの散策路めぐりは、まちの魅力に気づく機会にもなります。多くの市民が参加し、その価値に気づくことで、市の内外にその魅力を発信することもでき、まちの魅力の創造にもつながります。(実施回数：平成24年度5回、平成25年度6回、平成26年度2回、平成27年度3回、平成28年度3回)	実績値	380	356	136	164	140		
		達成率		95%	89%	34%	41%	35%	0%		
	指標3	名称		目標値				単位			
		算出式・説明		実績値							
		達成率									
	指標4	名称		目標値				単位			
		算出式・説明		実績値							
		達成率									
達成率の平均値					83%	80%	53%	60%	57%	53%	

【市民意見】【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	13.5%	満足度(%)	15.1%	満足度(%)	20.1%
満足度(平均ポイント)	-0.3	満足度(平均ポイント)	-0.28	満足度(平均ポイント)	-0.21
重要度(%)	65.9%	重要度(%)	63.2%	重要度(%)	66.3%
重要度(平均ポイント)	-0.89	重要度(平均ポイント)	0.83	重要度(平均ポイント)	0.9

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	今後の方針	◇成果指標の一つである「地域資源を活用したまちの魅力を創造」に対する市民満足度は向上し、目標値に到達しています。そのため、総合戦略に掲げる「『健康』応援都市の実現」の視点を踏まえつつ、これまでの取組を継続・充実することが重要です。 ◇「いこいな」の活用については、目に触れる機会を増やすことで、キャラクターへの愛着から郷土愛の醸成・深化に繋げる取組を継続していく必要があります。 ◇スマートフォンアプリの構築については、健康分野におけるサービス提供を検討するなど、市民に使いやすいツールとなるよう、さらなる利便性の向上を図ります。 ◇散策ルートの調査・研究については、多くの市民が散策路を巡り、みどりの再発見とともに市内の歴史や文化にも関心を持っていただけるよう、引き続きイベントの開催やルートの検討を進めます。また、総合戦略に掲げる「『健康』応援都市の実現」に向けて、歩くことによる健康づくりなど、散策路巡りに、人やまちの「健康」の視点を加えた取組も進めます。	◇西東京市のまちの魅力の発信、郷土愛の醸成などをめざして市のマスコットキャラクター「いこいな」を活用した様々な取組を進めています。平成28年2月にはLINEスタンプを販売し、平成28年度には地方創生加速化交付金事業である「SHITANOYAブランドエリア構想事業」の一環として、電車の中張り広告を行うなど、市の魅力のPRに取り組んでいます。平成29年度は、市内コンビニエンスストアでのグッズ販売に取り組むなど、「いこいな」をより身近に感じられることで、市のPRや魅力の魅力の向上に繋げていくことに努めます。 ◇平成27年度には、市の魅力を内外にPRするため、スマートフォン用の「観光・防災アプリ」を構築しました。今後も、アプリの特性を活かした活用を検討する必要があります。 ◇市民との協働により「みどりの散策マップ」を改訂しました。改訂に当たっては健康の視点を加え、散策コースを歩く際の消費カロリーや平均的な歩数、時間も掲載し、健康づくりにも役立てながら市内のみどりの再発見できるよう工夫しました。	
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	まちの魅力の創造については、総合戦略に基づく国交付金を活用し、郷土愛の醸成などを目指し市のマスコットキャラクター「いこいな」を活用した様々な取組や、VRを活用した下野谷遺跡の魅力向上や集客への取組など、観光やインバウンドを意識した市の魅力発信に努めています。 市民意識調査結果では、前回調査と比べ満足度・重要度に大きな変化は見られませんが、引き続き満足度は低くなっています。また、施策成果の目標は達成していません。そのため、施策実施コストの重点化を図るべきと判断しました。 引き続き「健康」応援都市の実現の視点を踏まえつつ、これまでの取組を継続・充実することが重要です。まちの魅力の向上をめざし、魅力ある景観づくりや、ひと・もの・ことを活用して「西東京ブランド」の構築を進めるとともに、地域資源の活用や積極的な情報発信に取り組む必要があります。また、「まちづくり若者サミット」のように、若い世代の声やアイデアをまちづくりに生かしていく取組も求められます。
施策実施方針【22】	IV 成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域	

【施策内の事務事業貢献度判定】

活2-1 まちの魅力を創造

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	まちの魅力向上事業の推進	情報推進課	まちの魅力向上事業の1つとして、スマートフォン用アプリケーションの構築を進めています。平成27年度は、災害時以外でも活用してもらえるような「身近で便利なアプリケーション」として、観光防災アプリの構築をしています。今後は、さらに、健康などの分野に拡充するなど、アプリの特性を活かした効果的な活用を検討していきます。
2	散策ルートの調査・研究	みどり公園課	点在する公園や緑地、屋敷林、寺社などを、みどりのネットワーク化した散策ルート（散策路）の調査研究を行い、市民協働により「みどりの散策マップ」作成しました。 さらに、「みどりの散策マップ」改訂を機会に、健康の視点を加え、散策コースを歩く際の消費カロリーや平均的な歩数及び時間等も掲載し、健康づくりにも役立てながら市内のみどりを再発見に努めていきます。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の 評価(直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
4,643	1,402	3,241			市のPR活動にキャラクターを統一的に継続して活用し、市の認知度の向上を図ることで、まちの魅力を創造することができます。
1,951	1,951	0			スマートフォン用アプリケーションの構築を進めることで、まちの魅力向上に寄与しています。
2,082	420	1,662	継続実施 (平成23年度)	中	歩いて楽しみながら、自身の健康づくりにも役立ち、みどりと景観が良い魅力ある空間(まち)の再発見につながっています。
8,676	3,773	4,903			